

# GO! GO! よしひろ

第39号

平成31年(2019)  
春号



## 前・衆議院議員 鈴木よしひろ活動レポート

発行 / 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070

ホームページ <http://www.yosshisuzuki.com> E-mail [iceszk@yosshisuzuki.com](mailto:iceszk@yosshisuzuki.com)

2019年巻頭所感

力を合わせ、  
もつと素晴らしい  
日本へ。  
勇猛果敢に  
発言、行動を  
続けます。



前・衆議院議員

鈴木よしひろ

いつも私・鈴木よしひろの政治活動にご理解、ご支援を戴き、本当にありがとうございます。2017年10月の衆議院選挙で苦杯を喫して以来、自らの不徳を反省し、皆様に感謝を申し上げ、精力的に活動しております。

### 理念と政策を大切に、 数合わせの政治とは 一線を画す

思い返せば、私の政治生活は1999年、三郷市から埼玉県議会議員選挙に立候補したのがスタートでした。自民党県議を4期13年務め、党内で改革派として活動して参りました。その後、国政に出るべきとの仲間の声に押され、非自民の枠組みで保守系改革派の立場で2012年、2014年と衆院選2期当選を得ることができました。旧知の細野豪志代議士から、保守の二大政党をつくり

たい」と誘われ、保守の二大政党制を実現するため、結党メンバー国会議員14人の一人として、「希望の党」設立に参加しましたが、結果は皆様のご期待に応えることができず、浪人の身となってしまいました。

その後、国政では、野党各党が数合わせに終始し、残念ながら、自民党に変わる改革保守(保守系改革派)の大きな流れが出来ていません。細野代議士の自民党二階派への加入が、その状況を象徴的に示しています。浪人中の私も、複数の野党からお誘いを受けましたが、数合わせ優先の状況下では、当面、無所属でいることを報告させていただきます。

### 国民の幸福につながる 建設的議論をするのが 真の国会議員の役割

さて、1月28日に第198回国

会が、6月26日までの会期150日間で召集されました。安倍内閣は、3月の予算成立を目指し、これまでの例を見れば、丁寧な審議ではなくて、数の力で押し切っていくでしょう。

一方の野党は、対案を出すよりも、とにかく安倍内閣を倒すということに血眼になっています。これでは野党は支持を得られません。それは世論調査にも現れていて、1月25〜27日に読売新聞をはじめ、各社の世論調査では、内閣支持率は18年12月の前回調査から横ばいか微増。政権打倒だけを掲げて国民の支持は得られないのです。

国会議員とは国民の幸せな暮らしを実現するため、国の進路を議論をする存在です。そのために、国の未来像を明らかにし、そこに至る道筋などを与野党で議論し、よりよい政策にしていくのが務めです。国会で、私は常に政策の目

### 政策的な見地から 政府の矛盾や不作為を 厳しく正すことが必要

的や目標値を明確にし、そもそもその目標が国民の幸せにどのように関係するのか、根本のところから問い続けてきました。

例えば政府が2020年までに名目GDPを600兆円に引き上げる目標を掲げ、そのために企業の生産性の向上を訴えたことに対し、石原大臣(当時)に衆議院予算委員会、私は、現在の約500兆を600兆に上げるため、都道府県ごとや分野ごとの数値目標があるかと質しました。

また、農産物の4000億円の輸出を10年で1兆円にする」との政府目標も、衆議院農林水産委員会、林農水大臣(当時)に対し「(実現のため)何を、どの国にどの

【裏面に続く】

